

**2010年10月 石原社長  
定例記者会見概要**

10月27日午後3時より放送センター20階役員大会議室で開かれた定例記者会見には、(株)TBS ホールディングス財津社長も同席し、冒頭で「横浜ベイスターズをめぐる交渉の打ち切り」について以下のようにコメントしました。

**<横浜ベイスターズ> (株)TBS ホールディングス 財津社長コメント**

住生活グループから提案いただいた、横浜ベイスターズ球団の株式の取得について、両者間で話し合いを続けて参りましたが、これまでに合意に至らず、時間的な問題など総合的な見地から、今回の協議自体を打ち切ることといたしました。

この問題につきましては、様々な報道により、プロ野球、そして横浜ベイスターズファンや選手の皆さんをはじめ、多くの方々にご心配をおかけしましたことは、本当に申し訳なく、お詫び申し上げます。我々としては、引き続きオーナー企業としての責任をもって、横浜ベイスターズ球団の発展とプロ野球の振興に向けて力を尽くして参ります。

**以下石原社長****<編成関連>**

日曜劇場『獣医ドリトル』はフジテレビさんとのドラマ戦争などと話題になったが、初回16%と好調なスタートを切った。『ぴったんこカンカン』や『金曜日のスマたちへ』のように好調を維持している番組もあるので、全体の視聴率を回復させ上位争いに加わりたいと思っている。

いよいよ明後日29日(金)から11月14日(日)にかけて、4年に一度のバレーボール世界選手権女子大会が、東京と、全国5つの都市で開催される。夏以降、調子を上げてきている日本代表の活躍によって、大会が大いに盛り上がることを期待している。TBSでは地上波ゴールデンタイム11枠で日本戦を中心にその熱戦を中継していく他、夜のハイライト番組やニュース・情報番組でも連日、世界のスーパープレーや熱戦の結果をお伝えしていく。「TBSチャンネル」などのCS放送では海外の強豪チームの試合中継を、BSでは速報ハイライトを予定しており、いろいろなメディアで多角的な展開を行っていく。

そして、11月3日からは、こちらも60周年記念番組である5夜連続ドラマ『99年の愛～ジャパニーズ・アメリカンズ～』が放送される。橋田先生にお書きいただいた戦争と平和というテーマに真正面から取組んだ、大変意義のあるドラマであり、多くの視聴者にご覧いただきたいと思っている。

**<営業関連>**

上期のタイムセールスについてはクライアントが固定費を避ける傾向が続いており低迷が続いている。一方、スポットセールスは東京地区の投下量が前年実績を大きく上回り順調に推移した。TBSも上期のスポットは、売上予算を達成、5局シェアも8月、9月と20%

を超え、回復傾向にある。

10月以降については、改編作業が終了し、タイムはレギュラー番組で何とか上期並の売上が確保できた。しかしながら、2クール(6ヶ月)契約のスポンサーが減り、1クール(3ヶ月)契約のスポンサーが増えているため、頑張らなければいけない状況は続いている。第3四半期スポットは東京地区の投下量が前年110%に迫る勢いで、TBSも前年を大きく上回る売上を見込んでいる。一方で「世界バレー」など大型ネット単発の影響もあってGRPが不足しており、11-12月はスポットの収容作業が大変なようだ。第4クォーターについては、円高やデフレが続いていて、今後の景気動向が不透明なことから楽観できないと思っている。

### <地デジ関連>

地デジ移行後の影響について、デジタル受信機はエコポイントの財源不足が心配されるほどよく売れており、年内にも累計1億台に届きそうな勢いだ。従って「デジタルテレビを買わないで、それきりテレビを見なくなってしまう」というテレビ離れの心配はないと思う。デバイスも増えるし、画質・音質・情報量がアナログに比べて格段に優れているデジタル化は、ある種の“テレビ回帰”効果を持つとも言える。ネットやモバイル情報機器の普及がテレビ視聴率に響いているという長期的な影響は否定しないが、逆に言えば、我々は膨大なコンテンツを制作しているので、コンテンツをいろいろなデバイスに展開できるビジネスチャンスであると思っている。果敢に挑戦していく事が大事だと思っている。

#### (以下衣笠常務)

11月はTBSが地デジ普及月間となるが、ジャンルを問わずさまざまな番組を通じて、さまざまな方法で地デジ対応を視聴者によびかけていく。29日に開幕する世界バレーでは番組連動データ放送を通じて地デジの楽しさをアピールする。選手情報や得点経過の表示はもちろん、視聴時間(分数)に応じて「世バレマイル」が蓄積されプレゼントにご応募いただくことができる。また、ご覧いただいているテレビがデジタル放送かアナログ放送か再確認していただけるよう、デジ・アナ非サイマルのアニメーションを多くの番組で表示している。このほかUHFアンテナの設置や、集合住宅の共調設備の問題など、南関東を中心とした対策についても単発のベルト枠を設けてオンエアする予定だ。

### <ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

おかげさまで、上期はタイム、スポットとも前年実績をクリアすることができた。この秋の新番組は、プロ野球中継の影響もあり、11月以降にレギュラー体制になる。一日も早くリスナーの皆様からのご支持をいただくよう努めていきます。平日、夜の『ニュース探究ラジオ Dig』がスタートして半年が経ったが、良かった点、反省すべき点を検証し、TBSラジオの将来を担う番組に育てたいと考えている。

事業関連では、TBSラジオの人気番組のオリジナルTシャツをWEBで購入できる“番T”プロジェクトをスタートした。

また、10月以降の営業面については、引き続きタイムは比較的堅調なもの、スポットは、見通しの立ちづらい状況だ。

以上